

■事務室の方へ 恐れ入りますが、分会長さんへお渡しください

長野高教組 FAX ニュース	増刷りの上、職場のみなさんに配布してください。
〒380-8790 長野市県町 593 TEL 026-234-2216 FAX 026-234-2219 メール naganokokyoso@educas.jp HP http://naganokokyoso.com/ FAX ニュースは、HP からダウンロードできます	2021 年 9 月 13 日 (月) No. 390 (21-07)

本日の定例会で、高校再編 2 次分と高校入試「3 次案」を決定

高校再編

住民説明会の意見にほとんど答えず

高校再編では、旧 2 通（中野・須坂）、旧 5 通（上小）、旧 10 通（木曾）と、旧 8 通（上伊那）の一次分で残されていた「総合学科高校」・「総合技術高校」の対象校が決定されました。3 月の案の公表後、7 月まで住民説明会が開催されましたが、県教委はあくまで「説明会」であり「案の見直しはしない」との姿勢で臨みました。本日決定された実施計画は、わずかに加筆しただけで 3 月の案そのままです。

旧 2 通では、中野立志館高校と中野西高校を統合し「中野総合学科新校」とし、須坂創成高校と須坂東高校を統合し「須坂新校」（総合技術高校＋普通科）とすること、旧 8 通では辰野高校（商）、箕輪進修高校（工）、上伊那農業高校、駒ヶ根工業高校を再編統合し「上伊那総合技術新校」とし、それに伴い辰野高校は普通高校に、箕輪進修高校は多部制・単位制の普通高校になります。また、赤穂高校を総合学科高校に転換することが決まりました。旧 5 通、旧 8 通は、全日制の高校配置の変更はありません。

地域の不満や今後の不安を残したまま・・・

住民説明会では、少人数学級の実現や、新校の設置場所や将来像、財政の見通しについての意見や質問が多く出されました。しかし少人数学級については「別に全県的な議論が必要」、「少人数の授業は出来ている」として取り合わない態度に終始しました。また、新校の設置場所、カリキュラム、財政の見通しなどについては、「決定後に設置される『懇話会』で議論する」として、住民の質問には答えませんでした。そのため、住民説明会に参加した住民の間に不満を残しました。

旧 2 通では「中野に普通高校がなくなり、進学しようと思ったら須坂にいかなくてはならなくなる」という懸念から住民有志が県教委に「要望書」を提出しています。また 8 通では住民説明会と併行して「考える会」のシンポジウムが開かれ、総合技術高校の場所など全体像を明らかにしないで決定しようとしていること、地域の産業構造を無視した再編案であること、通学の足の確保の問題など、疑問や不安の声が出されています。

高教組は当該校や地域住民、これから受験する児童生徒や保護者の声を今後の議論に行かすよう、引き続き取り組みをすすめていきます。

高校入試

複雑さ解消は歓迎するが、負担軽減策示されず

新たな高校入試について県教委は、コロナ禍も踏まえ「どのような状況でも実施できる制度としたい」として、「2 次案」を大きく変更する「たたき台」を 6 月各校に示し、本日の定例会で決定となりました。「得意活用型選考」等、学校独自の検査がなくなり、複雑さが解消される方向は評価できますが、前期選抜の「学力検査」、後期選抜の「面接」の導入など、高校現場への負担が増大する一方、負担軽減策が示されないなど問題が残されています。（詳細は高教組新聞でお知らせします）